

中学生の部 教育長賞

明るい思い出

不動堂中学校 1年 千葉 咲和

私が考える行きたくなる学校・魅力的な学校・理想的な学校のこの三つの中で私は理想的な学校に注目して考えました。私が考えた重要について書いていこうと思います。

まず一つ目は学校に常駐してくれているカウンセラーがいることです。中学生になったばかりの1年生、学校を引っぱらなくてはいけないと自覚を持ち始める2年生、高校受験の3年生、どの学年でも悩みはあると思います。そこでカウンセラーの方が居てくれれば少人数の生徒だけでも不安な気持ちが晴れてくれると思います。それだけではなく宮城県はいじめや不登校の認知件数が全国トップになってきています。私はこの記事を見て自分の知らないだけでこんなに近くに問題があると知り、自分は何もできないくやしさと悲しさでいっぱいでした。一人でも悩みがなくなるようにカウンセラーの方がいるのが学校全体のためになると思います。

二つ目は発言の場を増やしていくことです。なぜかというと高校受験の時の面接や学年全体の時などいろんな場面でよく考えなければいけないことがあります。そのために普段から、練習などを行うことで必要な場面でスムーズな受け答えができるようになります。私は人前で発言することがあまり得意ではありませんが、この方法を行うことでだいぶ緊張がやわらぐことができました。

この重要な二つの事が私の理想的な学校と考えました。学校が楽しく学べるよう、私も行動をおこしていきたいと思いました。